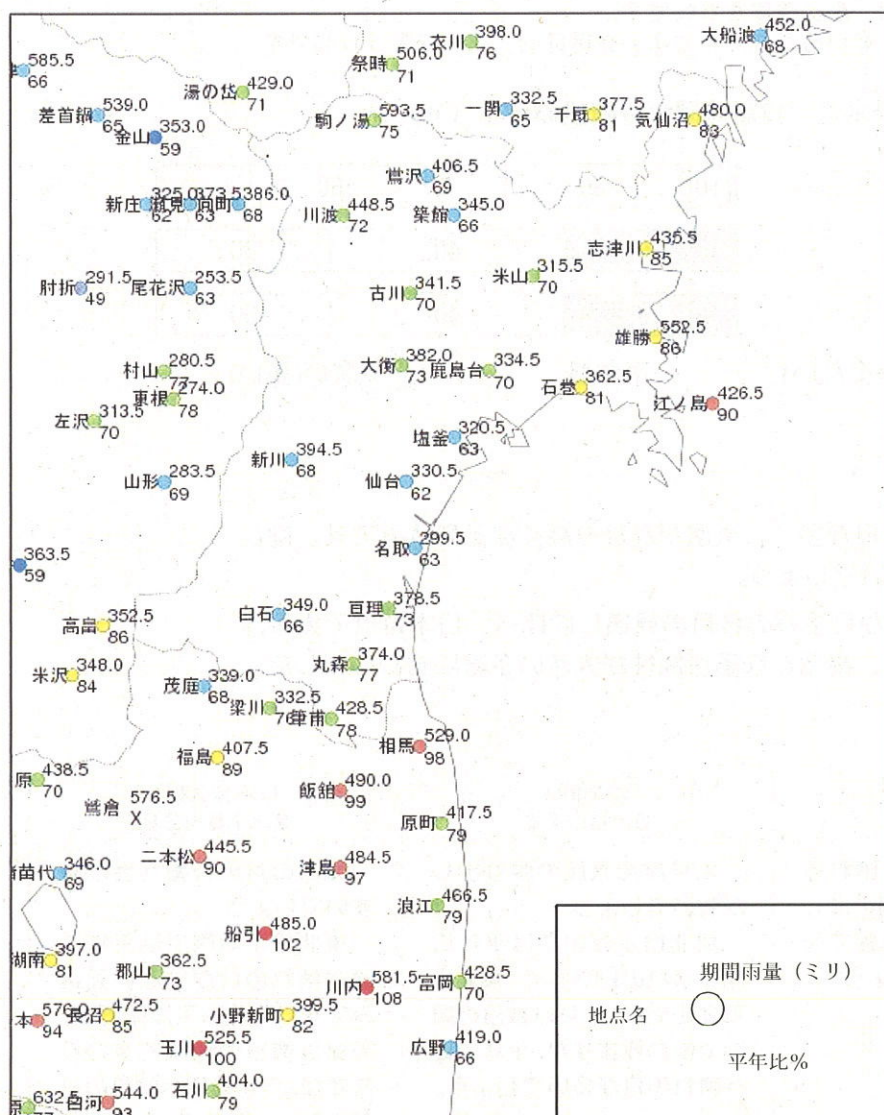


平成 27 年度仙台市水防協議会
 仙台管区气象台予報課

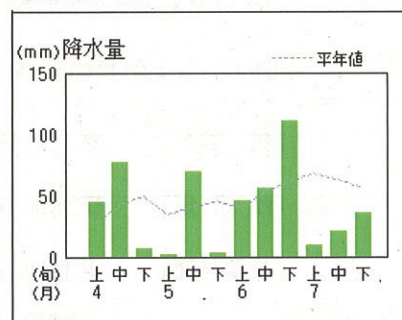
4 月から 7 月までの降水量について

【気象経過】

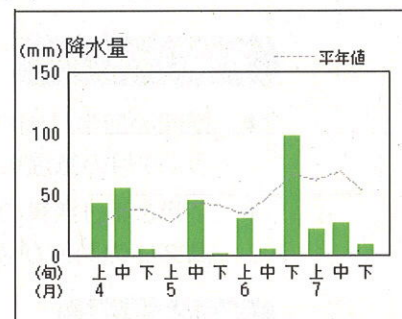
宮城県では、4 月下旬から高気圧に覆われて晴れる日が多く、降水量の少ない状態が続いていたが、梅雨入りをしたとみられる 6 月 26 日から、28 日にかけては日本海の低気圧や梅雨前線の影響で大雨となった。7 月は梅雨前線や湿った東よりの風の影響で、曇りや雨の日があったが、県南部を除き降水量は少なかった。なお、東北南部は 7 月 26 日頃に梅雨明けしたとみられる(速報値)。下図に宮城県周辺の 4 月 1 日から 7 月 31 日までのアメダス期間降水量と平年比の分布、および 3 地点の旬降水量時系列を示す。



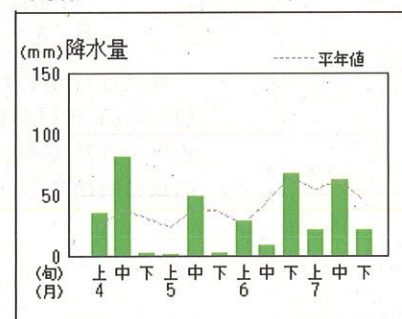
気仙沼



仙台



丸森



【今後の見通し】

東北地方 1か月予報

(8月1日から8月31日までの天候見通し)

平成27年7月30日
仙台管区气象台発表

<特に注意を要する事項>

期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。東北南部では、期間の前半は、降水量の少ない状態が続くでしょう。

<予想される向こう1か月の天候>

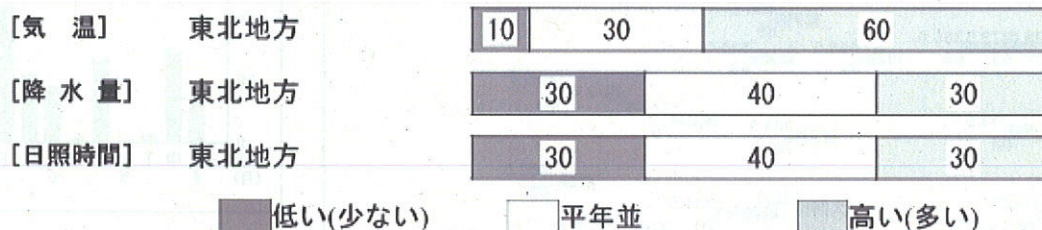
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

東北日本海側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。東北太平洋側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い確率60%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率80%です。2週目は、高い確率50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



予報のポイント

- 期間の前半は晴れる日が多く、気温がかなり高くなる見込みです。向こう1か月の気温も高いでしょう。
- 7月24日発表の3か月予報の8月の見通しに比べ、日本付近で太平洋高気圧の勢力が強く、高温となる可能性が大きい予報に変わりました。

週別の天候

(1週目) 8/1~7	(2週目) 8/8~14	(3~4週目) 8/15~28
高気圧に覆われて晴れる日が多いですが、期間のはじめは上空の寒気の影響で雨の降る所があるでしょう。	太平洋高気圧の張り出しが強いです。東北日本海側では平年に比べ晴れの日が多く、東北太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。	気圧の谷の影響を受けやすいです。東北日本海側では平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。東北太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

明日から1週間の、日別の天気や気温などは、週間天気予報 (<http://www.jma.go.jp/jp/week/>) を参照してください。

東北地方 3か月予報

(8月から10月までの天候見通し)

平成27年7月24日
仙台管区气象台発表

<予想される向こう3か月の天候>

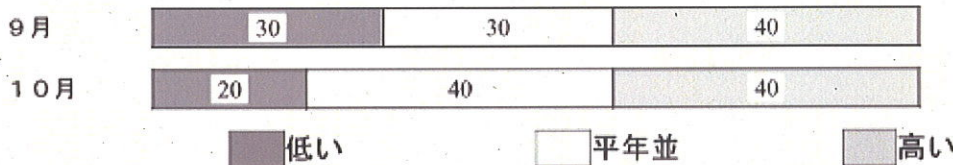
向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

9月 東北日本海側では、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多い見込みです。東北太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ曇りや雨の日が少ない見込みです。降水量は、平年並または少ない確率ともに40%です。

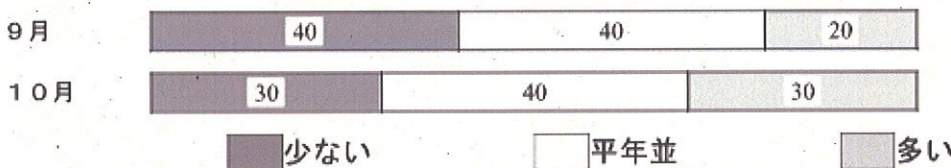
10月 天気は数日の周期で変わるでしょう。

気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

<<気温>>



<<降水量>>



予想される海洋と大気の特徴

- 大気全体の温度は、高い見込みです。
- 熱帯の海面水温は、日付変更線付近から東部で平年より高い見込みです。
- 日付変更線付近から太平洋東部にかけての熱帯域では、積乱雲の発生が多い一方、インド洋北部からフィリピン付近では積乱雲の発生は少ない見込みで、チベット高気圧は弱い見込みです。
- 上空の偏西風は、チベット高気圧が弱いことに対応して、全体的に平年より南寄りを流れ、やや弱い見込みです。
- 太平洋高気圧の北への張り出しは弱い見込みです。
- 沖縄・奄美と西日本では、大陸からの移動性高気圧におおわれやすい見込みです。

